

夏秋ギク「岩の白扇」の6月開花作型における無側枝性発現技術						
[要約]「岩の白扇」の6月開花作型では、花芽分化が始まる消灯前から換気を肩換気のみとして日中の温度を高めることにより無側枝性を発現させることができる。						
総合農林試験場・野菜花き部・花き科	専門	生理	対象	花き類	分類	指導
資料名：平成12年度花き試験成績書						

[背景・ねらい]

無側枝性ギク「岩の白扇」は、7月上旬開花までは側枝が発生し、摘芽・摘蕾作業は省力とはならない。大分県では、午前10:00まで換気しないことによって無側枝性の発現を試みたが、側枝は発生し、また、切り花品質も低下したと報告している。そこで、午前中の高温処理ではなく、日中の高温処理によって品質を低下させることなく無側枝性を発現できないか検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 「岩の白扇」の6月開花作型では、花芽分化が始まる消灯前より肩換気として日中の温度を高めることによって無側枝性が発現する。(表1)
2. 日中高温管理を行っても切り花品質は低下しない。(表2)
3. 無側枝性発現には、夜温よりも日中の高温が大きく関与している。(表3)

[成果の活用面・留意点]

1. 肩換気は、直挿し後30日程度経過し、根が土中に十分に張った時点で開始する。
2. 発蕾以降は十分換気し、切り花品質の向上を図る。

[具体的データ]

表 1 「岩の白扇」の6月開花における高温処理と無側枝性の発現

試験区	全節数	側枝 消失節数	側枝 消失節位	全摘芽摘蕾数	上位70cm 側枝数
慣行	46.7節	1.0節	46.3節	24.2本	23.0本
高温	47.1	10.9	31.4	13.5	9.9

注 1) 直挿し 平成12年3月1日

注 2) 消灯 平成12年4月20日

注 3) 慣行区はサイド全面換気、高温区は4月1日より発蕾までを肩換気のみ

表 2 「岩の白扇」の6月開花における高温処理と生育開花

試験区	消灯時(4/20)		採花日	草丈	葉数	柳葉	花首長	重量
	草丈	葉数						
慣行	31.5cm	17.4枚	6/18	97.7cm	46.7枚	1.7枚	2.5cm	87.2g
高温	34.8	17.9	6/20	102.4	47.1	2.4	3.4	87.0

注) 直挿し 平成12年3月1日

表 3 処理期間中の平均温度

試験区	4/1 ~ 4/20 (消灯まで)				4/1 ~ 5/19 (全期間)			
	総平均	最高	最低	差	総平均	最高	最低	差
慣行	16.3	27.0	9.4	+17.6	18.2	29.3	10.5	+18.8
高温	18.1	33.0	9.7	+23.3	19.7	34.6	10.9	+23.7
差	+1.8	+6.0	+0.3		+1.5	+5.3	+0.4	

注) 直挿し 平成12年3月1日

[その他]

研究課題名：省力的な無側枝性ギクの生理・生態解明と安定生産技術の確立

予算区分：国補（地域実用新技術）

研究期間：平成12年度（平成11～13年）

研究担当者：出口 浩、松尾崇宏